

(様式2(1))

事業所名 グループホームおひさま

作成日: 令和 3年 5月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画にもとづいたサービス実施が明確になるように、サービス提供記録の項目欄にプラン番号を記載しているが、職員間で記録方法が定着していない。	記録方法が定着し全職員が共通の記録が出来る様に周知徹底して行く。	記録方法が周知出来るように定期的な研修・ミーティングを行う。	6ヶ月
2	5	身体拘束適正化委員会の内容は議事録の回覧により職員の周知を図っているが、周知している事が明確になっていない。	周知している事が明確になるようにする。	在職している職員の名前の入った用紙を作成し、閲覧した職員は自分の名前の箇所に印鑑を押すか又はサインを記入する。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。